

第 4 回委員会以降の検討の方向性

資源のみち委員会での検討方針

第 1 回～第 3 回委員会では、まず下水汚泥の有効利用と他のバイオマスの受け入れ及びその利用推進方策等について先行的に審議いただいたところ。

これまでの検討結果については、政策研究委員会計画小委員会の中間とりまとめ（平成 18 年 9 月）に反映するとともに、平成 19 年度概算要求において「下水道施設を活用した地域バイオマスの利活用の推進（新世代下水道支援事業制度の拡充）」として具体化を進めている。

第 4 回委員会以降では、都市・地域における望ましい資源・エネルギー循環と下水道の関わり方及びその具体的な姿（対象とする場、関係する主体、実現する内容、実現に必要な施策・技術等）について検討を行う。また、その前提として、下水道の有するポテンシャルと現状、そのギャップの原因について整理を行う。

検討の経緯及び今後のスケジュール3月14日 第1回委員会

資源のみち委員会の設置について
下水汚泥資源利用に係る課題整理

5月16日 第2回委員会

各論検討

6月16日 第3回委員会

中間報告案

10月24日 第4回委員会

都市・地域における望ましい資源・エネルギー循環と下水道の関わり方及びその具体的な姿について検討

12月 第5回委員会

全体的な検討
最終報告骨子

2月 第6回委員会

最終報告のとりまとめ